京城日日新聞

近代思想を評す

文學博士 遠藤隆吉

▲「汝自身を知れ」と云ふ語は近代思潮に對する一警語として其のまゝ我々は受容することが出來る。「汝自身を知れ」といふことは自分の通りに自分を知れといふことである。更に砕いて言つたなら、手前は手前だけに知れといふことである。其處には少しの暴慢もなく、自惚心もなく、有りのまゝの自分を正しく知れといふことである。正しく知るといふことが最も大切な事である。西洋人に學ぶは宜しい。然しその長所を學ぶことでなければいけない。

▲近來の我國の樣に新舊様々の思想の紛糾混亂して歸する所のない有樣では、國家はその岐路に迷つて仕舞ひ、國家としては國體を危くする。私は歐洲の思想を取り入れることには大いに贊成する。けれど明治初年の洋行子の如くオムレツ子曰くライスカレー曰くで天晴れ、新智識で横行濶歩が出來た時代はイザ知らず、今日の如く國民一般が世界的智識に目醒めた時代に於ては學者も亦少しは西洋思想の輸入に對しても批評的態度を取らねばならぬ我國民性に照合して採長補短の注意を怠らぬことが肝要である。西洋思想の應下でなくて消化すること が最も 必要である。

▲自分を知らぬものくらひ仕末に困まるものはない。支那人の大部分は自分の特徴を知らぬ。彼等は彼自身を知らぬ爲めに、彼等を動かすものは國民性に對する自覺ではなくして、只「金」あるのみである。過激派ロシヤが跳梁なる行爲を不氣でやつて居ると傳へられる。その下手人は大抵國民性を忘却したる之等支那人である。尼港に於ける慘劇もその下手人と云へば多くは支那人であつた。「只」金あるのみで彼等には全く人格の觀念がない。人格の觀念のない者に、人格の發展のあらう道理がない。そこには道德もなければ人道もない。

▲學問に對する學者の態度も、又此の心掛を必要とする。然るに方今の學者は、單に西洋の思想の輸入にのみ汲々として居ることは大いに考へものである。「只」新しいものだと輸入する。それでは藝娼妓と同じく、迎合主義である醜態である。學界に此種の痴漢の多いことは擯斥に値する。我國民は此の實際行爲を果して歡迎するであらうか。

△由來、日本人たるものは、目に一丁字なくも「我れは日本人也」との自覺を有つて居る。我れは「我れ」としての見識を持つて居るけれども、單にそれだけではいけない。それと同時に現代の社會を知ることも忘つてはいけない。この自覺の中に、總ゆる新思想の攝取が必要である。善良なる社會主義者の意見の中にも採るべきものがある。彼等の社會は自主的精神を以て進むべしといふ。このことに對して我は必ずしも（敢て必ずしもといふ）ことに贊成はしない。が彼等の云ふことは時代の傾向を穿つて居る。そして人々は自主に進むべく人間相互扶助を必要とすると廣く人類愛を說く。これには非常な眞理がある。

△文明、向上の理想が警察や、監獄の擴大を誇るべきものでないとすれば、人々は、互に、自分は自分を治めるべきことに眞理があらう。

自主とは、社會的にはお互に助け合ふことである。昔は、自分の森は自分のもの、假令、他人がそれが爲めに迷惑しやうが不關焉とした。他人の爲めを計り他人の忠言を容れて代り倒すことを見識ないことゝした。全く個人主義である。所が今の社會ではソレが反對になつて來た。この私の森ある爲めに多くの方々が迷惑されるなら伐りませう、と云ふのが社會奉仕の麗しい道德と化した。個人も次第々々に社會と共通の部分が多くなつて來る。

社會と云ふことを考へなければ、時代に置去りにされる。我々は飽く迄も日本人であると云ふことを意識すると同時に、社會人であると云ふことを意識することを忘れてはならない。

原内閣の運命 と四元老の態度（下）

在京 一記者

然らば西園寺公は、と云ふに、公は前總裁として政友會の色彩は鮮かなれど樣々水の如く淡容玉の如き性質の持主であるからして政治に對しても何等執着心のない人である。故に前途洋々たる希望を有する政友會が何時までも戀々として政權に噛りついて居る必要は無い位に考へて居らうから公明正大に內閣更迭賛成とあつては大變であらう。

▲最後に松方侯であるが侯とても現政府に惡感を抱くやうな事は決してあるまいそれは一時藩閥に醉んだ藩閥の勢力が幾分盛返した氣味があり之に反し民閥の勢力は漸次衰亡の境に導かれて行く傾向を示すのも何人の力であらうか藩閥が擡頭し其勢力を張る事を恐れ嫌ふ者は云ふ迄もなく民閥で無ければならぬ之れと道理れとなるを顧ふは官僚の徒で最近民間中の或者が其最も顯見たる田中陸相に向つてケチを附けたがつてゐる事實は此間の消息を最も雄辯に物語るものでは無いか

▲侯の周圍には藩派の策士が侯を昇ぎ上げやうとするけれど侯の遜り子息諸の忠言や阻止により侯も又動くに動かれぬ破目に立つてある擧して然らば折角の藩派の努力も又有耶無耶にならざるを得ない

結局現侯の熱心なる政權異動の御評定も三對一で否決か若しそれも結局松侯の棄權で二對一で否決される運命に陥らう現內閣の運命は湊淡何れの方面から觀測しても悲觀材料にはならないと深い確信を持つてゐるらしい。要するに四元老の思ひ〳〵が此上の如きものであるとすれば水際立つた突發事件の起らぬ限り豫算の編成も無事なり來議會も安全地帶で反對黨が如何に蹴いても先づ明春までは現內閣も枕の高い譯ではあるまいか

西伯利の管見

官吏の行動 六

露國は他文明國と同様法治國たる以上は玆に歡露を要せざるは勿論なり然らば法令は確實に施行せられ法治國たるの實蹟顯著なりやと反問せられんか之を確なりと答ふるを躊躇すべく除儀なくせらるゝなり露國に於ては官廳は勿論下級官吏に至る迄常識職務を遂し居るにや常識に依り法令を解釋し否個人本位たる彼等は自己に有利なる如く之を解釋し之が適用を求むるものにして即ち法令違反者も當事者に賄賂することに依り刑罰の苦を脫するを得べく酒精を密輸入するに際し稅關に於ては稅關官吏への賄賂の金額略一定し居ると云ふことを傳聞くに至りては奇怪と云ふべきか稅關吏は密輸入者を發見敢て否認しを利權せんが爲暗夜の激濁に股し警官は罰金と自稱し不法利得を計らん爲め警察事務に服するの類皆然り政官も收賄に依り人民より請願の利益を左右し迅速に處理するの類多し、之統治者の尤も苦痛とする處にして遂に統治者の威嚴を失し被治者をして適從の途に迷はさしむるに至るべく上述の如く賄賂公然行はる露國現狀に於ては尤も生活に餘裕あるは稅關官吏なり次に警察官なりしも政變以來は都市に於ける警察官は比較的如斯きこと勘く僻地にありては依然此慣習失せず從つて彼等官吏は一般良民より擯斥せられつゝある如し

權利と義務

近時一般人の法律觀念進歩せし結果にや權利の主張を高唱するもの次第に增加しつゝあるも猶反比例に義務觀念は之に退歩しつゝあり從て權利は主張するも義務を履行するの觀念乏しく金錢を選するの傾向あり元來義務は積極的に之を履行し權利は之を消極的に主張せんか社會の秩序を生ぜざるべく個人間の紛議も釀成せざるべく遜て義務心も減退せざるべき筈なるに自己の義務は擯斥せざるも依然は之を極度に主張追及甚だ急なり斯の如きは教育の罪か時代の産物か上述の如く權利義務の觀念高潮の結果は人心物質的に傾き個人主義發達し自己の心身を犧牲に供するの美風は其地を掃ひ勞力の提供には直に物質的の報酬を要求するに至れり、換言すれば名譽を尊重すべき軍人も進級任官を唯一の産物とし是等副産物を獲得せんが爲めに軍務に服するに至り自己の犧牲的精神に依り挺節的に軍務に服し即ち獻身的職務に忠實に勉勵せし結果進級任官の月桂冠を得らるゝ事を忘れ進級任官をせざるに不平を唱ふるが如き皆此類にして此の如く物質的に傾ける露國人は露國現在の國內紊亂を悲慨憤慨するも國家の安寧秩序恢復に任ぜんとするもの殆となく徵兵募兵を強制するも重き制裁なければ之に應するものなく唯自己の身邊の安寧を祈願するのみにして個人本位より打算せる權利義務の名譽と心得居り政變に政變を重ねたる人心の動搖は益露國現況をして此傾向を深からしめつゝあり

日日歌壇（投稿歡迎）

狂二

戀すればあらぬかただにかなしみの影うつ〳〵と流す秋の陽

ひるがほの芯に吸はるるななめ陽のいとひそやかに忍び寄るらし

長詩 戀の花

紅點

忍びかに逼ひ寄る者
脊き布に面包みて
かい抱く 魂の片ら
晉にうつる 紅の色。
寄しきは、人の
歩みの足に踏まるる
路草、禁の花
血に滲む戀の花。

創作 熱光の下を（三十）

曉谷

「見つともないことがあるものか何をしやうと俺たちの隨分勝手ですることに差支のある譯がない。」

「だけど、妾はいやですよ」お前は素氣もなく言ひ捨てた。私は、何處までも臆病と見榮との角度を失へない、否、棄て去れないお前に對して、じれつたい樣な念慮をさへ感じて來た。これを、子供らしいとお前は呼んでゐた。そりや今から考へて見ると、隨い年の私は逆にしてみると、私の方が寄生的の拔け切らないお坊つちやんに見えたのは無理はない。職業とか差別とかを念頭に置いてゐない其頃の私は非形式な、世間知らずに見えたのも道理であつたらう。

私はカルタを勝手で切り合はせたり、繰込んだりし乍ら暫くもぢ〳〵してゐたが、何だか氣まづくなつて來たので、こつそりトランクの中に詰め込んで了つた。さうした後で又、寂しい寂しさがこみ上げて來るのだつた。「何と云ふ落付き合はない心だらう」と思ふと、餘りに自分たちは纏離れてゐるやうな氣がするのだつた。

兎に角立町に着いた。平凡と單調な生活に馴れ切つてゐるお前の實家では、俄に色づいて、賑しい空氣が漂ひ出した。

私が過去の中分は、いぢけたやうな淋しいものであつただけに、十何人の大家族で子供がウョ〳〵してゐる光景や、談笑の聲などは妙にそぐはぬ樣な氣がした。一徹な、默り家で、憂鬱な性格を有つてゐる私は斯うした內にも寂しい孤獨が好いやうに思はれた。來ては見たが何も自分を悅ばせるやうなことはなかつた。

「僕は寫生でもして來ませう」其日の夕方、繪具箱を提げて雪の一面に積もつた阿蘇街道に出たのであつた。下の弟たちが二人で跟いて來たのであるが、さうして出て行きたい樣な氣になつた。

「兄さん、何處まで行く？」戸下の方へ曲る坂まで來ると、下駄の齒に雪が詰まつて歩き疲れた義弟が不安さうに聞いた。私も不圖氣附いたので、大分來たやうだと思ひ乍ら深雪の中を引き返して行つた。私には其日の心持ちが不思議にさへ思はれた。

翌日は白川の兄さんとこへ行くので雪解けのしない前にと思つたが頑固な親父さんが愚圖々々云つてたので遂々お晝前になつてから山を下つた。

案じた通り雪が解けかかつてゐたので、狹つこい山路を歩くのは辛かつた。が、山を歩いてゐる氣分は妙に、懷かしい如なしんみりしたものだつた。

お夏姉さんの家では、如何にも正月らしい氣分が充ちてゐて、ちやんと睛まで揃へてあつた。會社が退けたと見えて、兄も歸つて來るし、立野からは直ぐ下の義弟も後れ馳せにやつて來た。

如才ない夏姉さんは力めて賑やかな調子と待遇をして與れたが、私は寧ろ、タラ―タラと云ふ豆太鼓のやうな音のする筧の音の方が嬉しかつた。雪を覆つた樹間の氣の紫みや、氷柱の下つた岩間の氣分が親しかつた。

お阿母やお前たちは、首を鳩めて長兄の嫁さんの批評をし合つてゐるらしかつた。

「あの年になつてまで貪食ひするかいの」お阿母が言つた。

「え、兎に角、あれぢや駄目よ」お前も斯う寄へてゐたが、私が不愉快さうな顔をすると惡い事でも言つて了つたやうに口を噤んだ。

夏さんは行李の底から十圓紙幣を一枚出して來て、お阿母にコートをお買ひなさいと言つて渡した。

「親父さんには默つといでよ。具合が惡いから」夏姉さんは一寸息を纏めて言つた。

本紙定價 廣告料 發行兼編輯人 島羽 印刷人 松崎宗次郎 發行所 京城永樂町二丁目七三 京城日日新聞社
電話 編輯 營業 用務 三三 三三 一一 九八 番
東京支局 大阪支局

內外電報

波休戰條約調印
波蘭側の主張貫徹す

[illegible]調印せらるゝ由に據れば露西亞側休戰委員はリガに於て休戰條約に調印したるが其條件は全部波蘭側の主張通りなりと(京城來電)

佛獨直接交渉開始

[illegible]佛國との間に於ける賠償金額決定に關し直接交渉を開始すべし(巴里來電)

聯盟會議準備進捗
加入國四十一新申込十一箇國

十一月ジユネーヴに開かるゝ國際聯盟第一回總會の爲め目下準備中なるが事務局は新に竣工せる湖畔の聯盟本部に於て着々進行しつゝあり現在國際聯盟に加入せるものは四十一箇國にして代表者隨員を加ふれば一千名の多きに上るべく又新に加盟を求めつゝあるもの十二箇國なりと(倫敦來電)

國際聯盟總會日程

日本國際聯盟協會は伊太利國際協會より十月十二日伊國ミランに開會せらるべき國際聯盟協會總會の件に關し左の如き照會に接せり(東京來電)

日程十月十二日午前十時聯盟協會總會組織午後三時發會式一伊國聯盟協會長演說二各國代表に對する理事會の挨拶、常任議員チツトニー、ミツチ、スプォルヲ諸氏演說三總會出席代表の組織(委事部會)會長は理事會之を任命す▲十三日午後二時より第五部會▲十四日午前十時及び午後三時▲會提出さる各種案件の解決に對する總會議事▲十五日午前十時總會議小委結午後三時閉會式同總會の議題中確定せるもの左の如し

一國際聯盟協會會定款修正及び理事の更正並に各種事務の組織

二國際聯盟局の宣傳方法
三國際仲裁裁判の設定
四軍備縮小問題
五國際經濟問題

尙支那協會より一、山東問題二、一千九百十六年乃至十八年日支協約に依り發生せる極東官憲に關する問題、露國協會より北樺太占領問題等を同總會に提出するやも計られずとの事なり依つて本邦協會にては嘉納治五郎田中館博士及其の他に貴族院議員並に在伊邦人十數名を選んで出席せしむべしと

國民の多數は穩健

七日日本より歸着せる紐育市の辯護士シーテイー・エスチユワード氏は語つて曰く日本に於て彼の忌むべき日米戰爭を鼓吹する者は皆軍閥並に其の亞流にして健全なる民衆を背後に控へたる多數新聞の論調は右記者流に反對なりと(桑港來電)

ウ將軍益進出す

最近に反軍と合體したるウンゲル將軍麾下の第一聯隊はベトセフスキーザヲード附近のニコリスクに於て交戰の結果同地を占領したりノウオセレンスクは叛軍に占領されたり(哈爾賓來電)

露領事館引渡拒絶

最近に支那側より撤退を請求せられたる長春露國領事館は去月二十六日其引渡しの要求を受けしも同館にては北京公使より何等命令來らずとの理由にて之を拒絕し居れるが支那側にては之に對し目下中央に電照中にて北京にては八日露公使と北京當局との會議ありたる由なれば近く正式引渡しのことゝなるべく妓數日を出でざるべしと傳へらる又同館にては二三日前より各種の器具類を賣却しつゝありて同館事ドリヤは大通に赴きて居住せんとの意を漏らし居る由尙七日午後五時半北京より張司法部次長顧問法部員來長城內に宿泊中にて大總統の命を受け露領事館撤退に就き領事及び館員の行動調査として奉天黑龍吉林の各地に出張狀況視察の爲めなりと(長春來電)

鐵道借款日本除外

北京交通部の京漢鐵道借款に關し英米佛三國銀行團より借款し日本の加入を認めざる事にせりと傳へらる(上海來電)

上海不逞輩復蠢動

上海在住の不逞鮮人等は琿春事件を動機とし又復獨立運動を開始せり(上海來電)

琿春事件と支那紙

支那新聞は一齊に鮮人が我國境を蹂躪するは事頗る重大にして無視すべからずと論せり(東京來電)

陸路侵入を企つ

[illegible]武器を所持せる不逞鮮人等は「ニコリスク」より陸路北鮮に侵入を企てつゝあり(浦鹽來電)

對奧條約發表期

[illegible]十五日頃發表せらるべし(東京來電)

聯閣組織行惱

聯立內閣組織に關し彼に組閣を提出せし財政部長チムメルマン氏は依然として辭意を翻さゞる爲め首相ビナンケ氏は一時財政部長を兼任する事となれり(維也納來電)

ア氏代理任命

臨時政府はアダレフ氏を支那に於ける同政府の公式代理に任命せるが各分離各政府も亦同氏を代表に任命す可しと(浦鹽來電)

馮麟閣氏任命

前二十八師長にして最近張氏の巡閲使となるや其副軍職に就き[illegible]せし馮麟閣氏は今回張氏の推薦により三多氏の後を襲ひ盛京副都統に任官されたり鄧玉麟氏も近く東邊鎭守使に任命さるべし(奉天來電)

交換條件提出

廣東軍政府及び督軍は谷鍾秀氏をして北京政府へ兩廣自主取消の交換條件として廣西派の不足軍費交附及東西派の援助を交渉中なり(廣東來電)

廣東督軍新任

廣東[illegible]陶廷育氏は八日新に調製せる廣東督軍の印綬を受けたり同氏は就任後變方に休戰令を下す可しと(上海來電)

領事團警告す

在廣東領事團は支那官憲に對し速かに平和の解決を遂げられたき旨警告を發せり(香港來電)

廣西借款成立

支那紙の傳ふる所に依れば廣西政府と香港、上海、銀行と先般來三百五十萬元の借款交渉中の所愈調印を完了したるを以て廣西代表は財政部と打合せの爲め北京に赴けりと(上海來電)

露亞銀行引渡

長春城內の露亞銀行は佛國人歐毛爾華陽洋行に引渡すことに決定せりとの說あり(長春來電)

日蒙借款成立

日蒙間に六百萬圓の借款成立せりと支那に報ぜり(上海來電)

山縣公の動靜

九日午前八時四十分中村宮相は自動車を駈りて五番町の邸に山縣老公を訪問したるが九時十分奧元帥九時十五分添田壽一博士の訪問あり會談暫時にして辭去し中村宮相は十時二十五分辭去山縣老公は十時四十五分各宮家伺候の爲め自動車を驅つて外出せり(東京來電)

松方侯爵歸京

[illegible]鎌倉別邸に靜養中なりし松方侯爵は九日自動車にて歸京三田の自邸に入れり(東京來電)

三氏陸相質問

憲政會の琿春事件に關する陸相訪問委員たる高木箕浦[illegible]の三氏は九日午後三時陸相官邸に田中陸相と會見し此の後の處置に就き種々質問せるが陸相は匪賊掃蕩確信の[illegible]

官民側面觀(一)

文局一記者

[illegible]

教育功勞者表彰

十月三十日は恰も教育勅語渙發三十年記念祭を擧行し功勞者二百名を表彰すべしと(東京來電)

前月末正貨在高

九月末現在正貨總額二十億圓なり(東京來電)

歐露に於ける過激派の色別

歐露に於ける過激派は三個の傾向と三つのグループを有す即ち右黨左黨中央黨とす左黨はブクワリン、之が領袖たり[illegible]

軍警重要會議

[illegible]

地方開發の眞諦
=元田鐵相談=

開發開墾助成

[illegible]

國力充與と鐵道

[illegible]

鐵道增設案通過

[illegible]

米價前途悲觀

十六圓臺出現說

[illegible]

魔手朝鮮に及ぶ
今回の賊徒は軍事的智識を有し攻擊的態度に出づ
大庭軍司令官談

於濟淨

第二報大庭軍司令官は語りて曰く國境方面は戰時氣分漂ひ仲々緊張し居れり、琿春附近の賊徒の行爲は從來の不逞鮮人に比し全く趣を異にし不逞鮮人は[illegible]て日本兵に向ふ事なかりしも今回の賊徒は攻擊的態度に出で其の行動たるや軍事的智識を有ず暇令へば三方より琿春を包圍したる如き兵站線の如き後方を脅威したるが如き或前哨線を設置するが如き何れも軍事智識あるにあらずんばなす能はず、思ふに西伯利より軍事教育を受けたる露人鮮人[illegible]

所持品中

には西伯[illegible]出征部隊たりし我兵の攜帶品及[illegible]過激派軍人の服を攜帶し居るが如[illegible]確かに過激派が鮮內に入り込みて朝鮮を赤化せしめんと努め居れるは疑を入れず若し朝鮮に入り込まば鮮人は一日も[illegible]

朧を得て

[illegible]

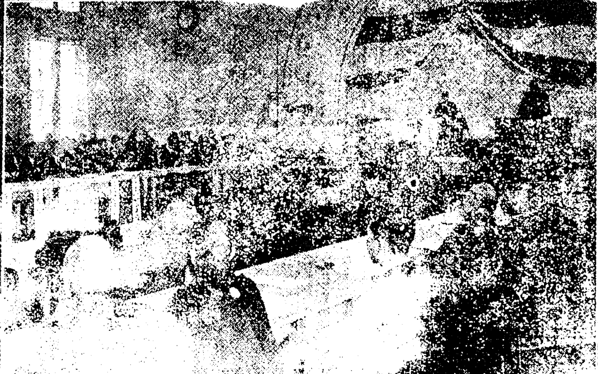
奉天客月金融

朝鮮銀行調査

[illegible]

戶口調査集計

[illegible]



全鮮實業家懇話會

黃海道蠶業狀態
鈴木道蠶業取締役談

本道の蠶業取締狀況に就ては特に語るべき事項を有せざるが[illegible]

社告

昨今本社に關し市中種々なる噂さ(例へば解散又は賣却)流布され居る模樣に候が、本社內部は目下組織の變更、整理等に着手致居候も斷じて解散又は賣却等の企て無く何處迄も釋尾社長統裁の下に刷新經營社業の發展を企劃致居候に付四方同情の人々は此點御安心被下度候尙ほ社內刷新の結果は數日中に本紙上に於て發表可致候間是亦御諒承被下度候

大正九年十月十一日

京城日日新聞社

京管局所長會議

京管局にては去る七日以來龍山草梁大田平壤及元山の各工務事務所長を本局に招集し所長會議を開催中なりしが九日を以て終了せる由

客月仁川貿易

九月中に於ける仁川港出入貿易は輸移出に於て百六十九萬六千五百七十八圓又輸移入に於て二百七十二萬七千〇十八圓合計四百四十二萬三千五百九十六圓を數えたり[illegible]

實業家懇話會

[illegible]

前田司令官歸任

[illegible]前田憲兵隊司令官は八日午後七時歸任せり

花井博士入京

花井卓藏博士十日朝釜山上陸十時發急行にて北行午後八時入京せり

人事

▲阿部鎭之助(獨立通信社長)九日夜京城の筈
▲十時雄次郎(總督府技師)五日附原道管內出張被命
▲今村武志(同事務課長)八日附平南管內に出張被命

李堈公展墓

李堈公及同妃兩殿下は八日午後九時三十分高陽郡纛島面[illegible]所在の御生母の御墳墓を爲し九日午前〇時五十分歸邸せられたり

全鮮實業大會の記
緊急動議當局官憲の臨席を乞ふ

記者は昨十日[illegible]京城公會堂に於て開催されし全鮮實業家大會に參列する光榮を得た、該會の議事は公開せざる申合せとのことなれば記者も之を詳記することを避け此處には其の無事に進行したるの一端を敍するに止めやう[illegible]

[illegible]も無理からぬ事である

제98호 1920. 10. 11.

國境外に出動監視

龍山派遣部隊

朝鮮軍司令部發表

愈々追擊開始さる

琿春事變の遺骨清津着

支那側快く我軍事動を承認す

悔り難き賊團

本隊を茂山對岸に集中し別動隊を以て我兵站線を脅さんとす

急遽歸任の途に就ける軍司令官

快報近きにあらん

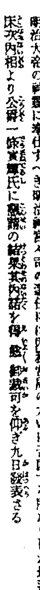
攻擊前進

抵抗擊戰

過激派的

琿領事の謝電

…ずるも市中尚寂寞たり　間島總領事より軍司令官宛左の謝電ありたり　商に御出兵を受け當地方在留民は安堵感泣に堪えず玆に御配慮を謝す



（明治神宮宮司に確定の一條實輝公）

…に苦慮する所なりしが最近…九日發表さる

弱冠二十二歲 征途に上る張學良

張作霖氏愛子の出發に臨み噓して曰く「克く賊を破り支那軍隊の名譽を顯揚せよ」

部下步兵

二箇團騎兵一箇營（內若干殘留）一箇營工兵輜重兵各一連…旅團を引具して奉天…途に上るべく同旅內に於…送出の祝宴が開かれた、…は周知の如く張作霖氏の…年漸く廿二歲の弱輩なる…三省講武堂を優等で卒業…統より稱に見るの秀才と…宴會に父張作霖の名代とし…

愚息漢鄉

…し地を利して頗る頑強なりと聞く…加ふる何等實戰の經驗もなく同地…方の地理にも暗い、されば愚郷今回…の大役は實に息子の力に俟つて果…さるゝの外なし向寒の際一入其勢…の强りである

士氣を皷

…に改編さるゝ豫定なれば諸氏の昇…任も遠ふかまゝなる可し」と傾る…打算的な訓示を與へて大に士氣を皷舞したとの…ことである因に同旅の吉林出動は…不逞鮮人取締も兼ねることは斷…

日支親善

論を演說し…實務され又同年金城館に於ける日支官民の宴會に父張作霖の名代として出席し席上堂々…て居列ぶ人々を感歎せしめた程の秀才で正に出藍の村であると認められて居るが馬賊討伐其の他の實戰には未だ一回の經驗もなく今回の吉林出動に就いて豫期の效果を收め得るや否に就いては多少の疑問を抱かるゝと共に其身邊の危險を氣遣はるゝものがある、されば張作相中將や吳俊陞中將等の古武者が頻りに之を憂慮し口を揃へて張少將の出動中止を張作霖氏に諫言し若し餘儀なしとせば吾自ら…

其輔佐役

として出馬…少將の出動中止を張作霖氏…若し餘儀なしとせば吾自…と言ひ張へたが張氏は何事も…爲其身の將來の爲だとあつ…言を斥け遂に出動することゝ…たので張少將は血氣の若武…者に欣喜雀躍たるもの張將…右に親子の情、初陣の我子…ふての餘りにや五日同旅團…長郭松齡大佐以下主なる幹…く招致し「吉林省は馬賊の…域廣大にして人文未だ發達…るも同地に跳梁する馬賊は最…されつゝあるものにて大砲…其他の精鋭なる武器を所有…

哈府全く赤化す

日本軍の血を流さしめ其血の流れに沿いて侵入せんと豪語するパルチザン殘黨

最近哈府より浦鹽經由撤退着目下…チュカロありとの報あり余は之を…本軍司令部に通知せしも何故か…本軍は之を捕縛せず尚彼等パル…ザンはクラスナヤーチユカに於…

殊勳者

なるが…最近哈府より…イースタン、ホテルに…レオニード、エヴ氏は哈…十四師團隊勤務に從事…活動を始めより知りたる…る所に依れば哈府は近來…デザンの徒黨入り込み形…なれり某日活動寫眞館に…チザンガ九十三名徒歩に…り哈府に到着し同地の…と合同し日本軍を襲擊…あり又彼等の一部は哈府より三十…露里の上流なるクラスナヤ、レーチ…

日本軍

の血を流さしめ…先づ…其の血の流れに沿ひて哈府に侵入…るなりと豪語し居れりと云ふ尚…回の日本軍の撤退に際し右黨側…は全部避難し殘るは左黨のみにし…て哈府は今や全く赤化し終れるが…に依つて過激派は日本軍のパル…チザンの襲擊を恐れて撤退を爲せ…るものと見なし居れりと云ふ

運送荷物盜難頻々

銃器類等の被害もある

仁川税關倉庫附近で

當局と當業者で防遏策の凝議

近來仁川稅關倉庫及棧橋內附近に於て運送荷物の盜難頻々として發生し中には銃器等の被害あり仁川署に於ては屆出に從ひ充分なる手配を施し相應の成績を收めつゝあるも被害の度は從つて頻れば從つて出る的の有樣にて、其間荷物取扱上に

不備缺陷

ある事を認めたる爲め八日午後一時より府內各運輸業者及運搬者を署內に召集し其改善防遏策に就き協議したるが第一の缺陷は看守人の不備に基因する者の如く近時發生したる被害總額を調査すれば看守人を附せざる某々二三の運送業者のみが被害多き點より此際是非看守人を附し相當の施設を爲すの必要ありとす先づ着荷するや直に稅關に於て內容の檢査を行ひ一時荷物を置く場所の關係上、運送業者は其儘、稅關檢査倉庫內に放置し別に看守人を附し居らざるのみならず該倉庫は夜間に於ては之を閉鎖するも晝間は各運送業者及人夫等の

出入自由

に任せあれば其間、隙に乘じて容易に盜取り得る次第なり尚將來擴大にして野積しある荷物に對しても何等の設備もなく又看守人を設けあらざるが如きも該業者に於て充分なる注意を施す可き必要あり其外、稅關に關て貨物の內容檢査を行ふ場合各營業者に於ては相當なる立會人を附するは元より檢査終了後、荷受人に引渡しするに際して單に其責任なる人夫等に一任せず必ず責任ある店員をして之に立會せしめ後日萬一數量等の不足ある場合に對する責任所在を分明にすべく

其引渡を

確實にするの要あり而して之と共に出入使用人夫の氏名住所年齡等を判明に控え置けば被害の際にも其犯人檢擧に頗る利便なる可し從來の如き氏名住所不明の者を使用し居るは搜查上支障を生ずるは明白の事なり其外被害額より言へば僅少のものなりとも荷物其物が危險性を有する物例へば銃器火藥類の如き物に在りては宜しく充分の注意を拂ひ其の取扱ひに對して忽にせざる樣努力するとの事である（仁川）

英國政府に招聘さる

學界の名譽

野口博士

元細菌學研究者野口博士は本年冬より英國政府の招聘によりて家畜病たる口蹄病研究に從事する事となりたるが自由主義の英國にして今回の招聘は日本醫學界の名譽にして同博士の爲學を賞するものなりと（東京來電）

意外に多い協議員有權者

鮮人側の激增

仁川府廳では本月一日から十數名の臨時雇員を雇入れ府協議員選擧人名簿を大馬力で作製せしめつゝあるが內地人五百名鮮人三百名の推定を超え千の臺に互くて有らうとの事である殊に鮮人側は近時納稅資格者の增加の爲め或は京城の如き熱狂はせを生じ內鮮在籍の數に達するやも知れずと今回の作製名簿は鮮人の富が如何に增進したるかを測り知るバローメーターで單に協議員選擧に必要のみではなく國勢調査に次ぐ大事の仕事で有ると府廳內某氏の談片である府では遲くとも十八九日頃迄に完結し二十一日より作製縱覽に供すると（仁川）

餘罪

ある見込にて嚴重取調べ中なるが某の說に依れば曾て兩鮮人のみならず內地人も多數加りダイナマイトを多數に盜み出し某々方面に賣捌き居るも某方面に就ては私も人も存じません夫は絕對秘密に附せられて居る樣で又ダイナマイトを何に使用するかも知れませんと尚同警察署員の談に依れば今回

檢擧

せれたるダイナマイト犯人は全く二人や三人ではないでせうさりとて鮮人や內地人を檢擧するには容易な事ではありませんと云々と語れり（京都來電）

ダイナマイトの犯人

多數の內鮮人共謀して爆藥を盜出して某方面に輸出

擧動不審の二鮮人は京都驛に會合中逮捕さる

七日午後五時頃京都七條署刑事…京都驛構內警戒中士方風の怪しき洋服姿なる怪しき二青年の徘徊せるを認め直に

誰何

せしに同人等は朝鮮人にして慶尙北道…郡…橋本文吉…事實金出（二二）同郡中島金次郎事…に…

搜查

の嚴重を極むる…

黃金館改築披露

京城黃金町黃金館は本年二月前經營者退去と共に當地某實業家の後援に據て從來の營業方針を根本より改革すると同時に館內外の改築も壯麗竣工したため九日より改築披露として晝夜二回開演し歐洲的史劇映畫「白菊物語」等を上場して金一千圓の籤引を仕組んで興行を添えてゐるが近日中に優秀なるテニストをも招聘すると謂ふが一般愛活家並に斯道通は此の機會に辯士の改革をも期待して居る。

米船員行人を斬る

泥醉して飲食店を騷がせ鎮撫巡查にも傷を負はす

大連港碇泊中なる米國汽船イース號乘組船員西班牙人チヤス、パーリアス（三）は三月九日午前三時頃市內西廣場某飲食店に…の同僚と共に各處にて飲食をなし…の女將が最早遲き故斷り與れよと…手眞似にて斷りたるを怒りコップを女將に投つけ負傷せしめたる騷ぎに居合せたる人々が取り押へんとせるにチヤスはナイフを拔きて相手構わず切り捲り負傷者を出せるより鍊瓦にては醉漢を表に突出し戶を閉さしたるが此時鍊瓦と

壁一重

を隔たる隣家の饅頭製造業村上增次（三七）隣家の騷ぎに何事の起れるかと表に立ち出でし處を荒れ狂へるチヤスバーノリアスは突然增次の左横腹より腎臟に達する重傷を負せて卽死せしめ逃走に向ひたる永井巡查と格鬪し顏面數個所の

重傷を

負はせ飛鳥町方面に逃走せるを非常線警戒中の騎馬巡查道元騎兵に發見せられ大格鬪の末逮捕せられたり近來米國船員の暴行者多し（大連來電）

酒肴を

命ずるやら同家…

川柳雜誌生る

仁川同好…月號はふじんまりしたる體裁と生く生れたる川柳雜誌「南大門」十各地の祭擧の下に仁川に於て新しく…寺町一三赤瀨紅短冊氏宛との由

旭江會秋季演奏會

五絃法滅山雞川旭江會は設立三週年を記念する爲め九日を期し榮町開盛座に於て秋季演奏會開催の筈なりしが都合に依りて十日に延ばし旭江、旭龍、旭儀三師の外同會の花形多數出演午後五時より開演したるが稀に見る盛會を極めぬ

旭汀會琵琶會

南山町旭汀會は來る十三日より長谷川町京城公會堂に於て五週年記念演奏會を開催する筈にて法華山旭汀が、齋夜の彈曲は「紫野大德寺」なり

フイルム

人情活劇「紅一點」——喜樂館——

カナダの一角、アルベツドの牧場に住んでゐる乘馬の好きなカアリイは、のつぴきならぬ事から人に…

シベリヤに泣く女

紙扉に映る影法師 焰ゆるやうな眼で渠は凝乎と夫れを睨んだ

紅燈私娼

ローマンス

（六）

…前へ通ずる廊下を隔てゝ、三つ目の溫房がお關の室であつた。入口の紙扉に寫る客と二人の影…向ひの影は何を語るか、…

難味い酒

を口に運びながら燃ゆる樣な眼を見張つて其の影を見詰めた。「關ちゃん、漂さんが來てるよ」一寸顏を出したらどう」は搖う言つてお關に注意をした。銚子の代りを取りに行く度に女が「そう、有難う」と返事はしたが

深い吐息

さへ洩らし…「漂さんが今日は變だよ、氣を付けないと、間違ひでもあると可けないから」六本目の銚子を取りに來た時女は帳主に搖う言つた「彼奴も大分穴をあけてる相だか

お關は出て來ようともしなかつた彼は段々と銚子の數を重ねて行く…に連れ沈鬱な顏を一層深く燃らしてしまつて、時々何を思ひ出して…

溫房に顏

を出したのお關が彼の…をかいて、粱酒の茶碗を取つた、彼等は土間の炭火の周圍に安眠…「大丈夫だらうと思ふが、まあ一杯やりながら見てくれ」…やつて來た…

溜場へ使

を馳らし…

膝に凭れ

かゝつて…

市民の聲

●肥桶行列…

●交通整理片手落…

運動界

滿鐵野球團遠征

滿鐵京管局野球部にては奉天野球團に挑戰目下安東縣に於て會戰すべく交涉中なるが多分來る十六日出發征途に上り十七日試合を行ふことゝなるべし

奬忠壇は何の爲になる?

三面拔萃帖

●世界一日…學校の第一日に…●…鐵道故…●大阪に…●名古屋…

小栗判官照手姫 旭亭桃山口演

深夜寝息を窺ひ合 （九十五）

終日の疲れに八郎直忠、横になると其儘グウ／＼と大鼾でございます、鼾をかく方は身體が丈夫だと申しますが、成程さうかも知れません、豪傑は大きな鼾をかく、木剣を提げて白雲道人枕元に突立ち 道「大きな鼾をかくなア、人が来た、コレ起きんか」とポカ／＼續け打ちに三ツ四ツ殴つた吃驚した飛起きた八郎直忠 八「先生、他の眠て居る處をお打ちになるといふ譯があるものではございません、油断ではない休んで居りますので」道「休んで居るのでも、身體に油断のある以上は仕方がない、戦ひ中に晝夜の區別はないから」八「エツ夜戦……」道「敵同志だから夜戦もする、當然の事ちや」八「宜しうございます、私も是れからは先生の眠つて居る所を打ちますぞ」道「白雲道人の眠は全くの眠りちやがお前の眠りは死んでしまふのだ」八「ヘエー」道「眠つて居る丈なれば、人が枕元へ立つて直ぐ眼を覺ます筈ちやに、お前は死んでしまふから、枕元へ立つても眼を覺まさんではないか、さう云はれて口惜いと思ふなら殴りに來い」八「乾度參ります」道「さうか」其晩直ぐ行つても打たれないと思ふから、其晩になると八郎眠つた態をして空鼾をかきながら奥の様子を窺つて居りますと、グウ／＼と云ふ白雲道人の高鼾どうやら空鼾らしくない、本當に眠つて居るやうだ、斯うなれば今夜こそ勿體ないが、師匠でも何でも一つ叩いて與れやうと、八郎木剣を提げて審と奥へ來て枕許へ立つと道人パツと兩眼を開いて 道「お出でなすつたな」八「是りやアいけない……先生のは空鼾で」道「イヤ眞正の眠であるから、人が枕元に立つと兩眼が覺める」八「アア左様ですか口惜しいが」ハツと手を支いて其夜は引揚げ、翌晩もやつて來る、枕元に立つと道人又もや兩眼を開く、こんな工合で幾晩でも一度も手が出せない、それに引換へ自分は油断をしまい／＼と思つても疲れて眠つて終ふ、枕元に師匠が立つても氣が付かない、其後とも二度も三度も打たれました、サア殘念だ、先生の來た時に兩眼をパツと開いて驚かしてやりたいと八郎考へた、根が怜悧な人だから不圖氣が付いて 八「先生」道「何ちや」八「此頃猿共が薪が生木で燃えて居るやうです、私が枯木のある所を教へてやつても、其處は猿智慧と云ひまして、敵と人間の云ふ事を疑ひ、時々枯木を拾つて來ません、依つて今日は私が枯木を拾つて參ります、少し時が掛るかも知れませぬが、お暇を願ひ度う存じます」道「アーさうか、澤山拾つて來てやつて與れ」八「畏まりました」梯が二本梯子のやうになつてからげてある、背負子といふものを背負つて、八郎山の枯木を澤山拾ひ集め、例の背負子に小山のやうに積み重ねて、それを傍に置き日當りの宜い處に身を横にして、八郎斷頭の如くグウ／＼グウーツと眠つて終つた、十二分に眠つて起き上り、背負子を背負つて歸つて來た 道「大層遲かつたな」八「其れ故遲くなると申上げて置きました、良い枯木がありませんので漸ら尋ねて良い枯木を探して來ました」道「さうか、其れは御苦勞だつた、サア緩みなさい」八「有難う存じます」晝間眠り溜めた八郎其晩は横になると空鼾をかき初めた、相變らず木剣を提げて道人八郎の枕元へ立つと、此方はパツと兩眼を開いて 八「イヤ先生入らつしやい、今晩は駄目でございますよ」